



# 17万人が集う

## さようなら原発集会

福島から参加した大勢の人たち



挨拶する呼びかけ人のひとりの鎌田慧さん

「じんぶん赤旗」で大きく報道しているように、7月16日さようなら原発10万人集会に17万人もの人が東京代々木公園に集まりました。原発イニにかける思いを聞きました。



手作りプラカードを掲げて

10m以上もある大きな横断幕を高く掲げる人々

## 参加者の声

### 福島への悲しみ、怒り、そして立ち上ろうとする姿に胸がキュウ

開催の2時間まえ、原宿駅は人人人…。

会場では炎天下、暑い暑いと言いつつ、しかし、原発反対という熱気のほうが熱い。

私の横にいた人は青森から来たのと、公園横のNHKに向けて報道しろと大きな声が上がった時、中央で報道されない地方ではまったく伝わってこないんですよ。その方は話しかけてくれました。

「ここに集まった人々の力がゆがんだ政治社会を変える力になる」と呼びかけ人らが訴えられました。福島から参加した武藤類子さんが福島の人々の悲しみ、怒りそして立ち上がるうとする姿を語られ、胸がキュウと締め付けられました。原発が

ら送電線に沿って歩いてきて、背負ってきた福島の上を東電と経産省に届けるという方が紹介されました。小柄で穏やかそうな顔に決意がみなぎっていました。17万人の参加が報告されると大きな拍手が起こりました。

野田首相は「これを音」と言い続けるのでしょうか。どんな手を尽くしても押しつぶさうとする力がある。ここに集う人々の団結力がある限りいつかは乗り越えられると思えました。

帰ってきてテレビニュースを見てなんか変と感じました。今までは報道もされなかったものが、あまりの力に報道するようにになりました。でも、ツイッターで

集まってきた人々ばかりを強調しています。17万人といふ数字はその力が大きいでしょうが、参加してみるとこれだけの集会をするためにどれだけ多くの人が準備し、苦勞してきただかがわかります。表面には出なくてもそこには多くの民主的

団体が大会成功のために力を注いでいたであろうことが察せられます。福島の人々や個人の思いをつづた旗のほかに平和や生活やのために奮闘している組合や民主的団体の旗があふれています。たくさんの人々が声を上げることができるようになつてきたのは、そのような努力があつたのだと思えました。これもちゃんと報道してほしいと思えました。(T)

## 「庶民が政治を変える時代だ」東京のタクシー運転手

### 金曜夜の官邸前抗議に共感

東京で、歴史が好きというタクシーの運転手に会う。NHKの大河ドラマ「平清盛」を毎回見るとのこと。平家の政治はいまの野田内閣といっしょ。原発は怖い、みんなそう思っている。それなのに野田首相は原発再稼働させた。毎週金曜日夜首相官邸前に集まって抗議している人はみんな同じ気持ち。庶民が政治を変

える時代になってきたのだ。と熱く語っていた。平清盛が野田政権と同じだ。という意味が今ひとつわからなかった。平家と源氏のたたかいが私の頭に浮かんだ。からだだ。しかし、大河ドラマをみてわかった。実は貴族が支配する社会と、武家とのたたかいたったのだ。そういつことがわかる。

タクシー運転手の話がよく理解できる。野田政権は、自民・公明政権と同じ、財界べつたり、アメリカいなりりの政権だ。それに反対して、十数万人もの若者、市民たちが、毎週金曜日に原発再稼働反対に訴えて首相官邸を取り囲んでいるのだ。(Y)



琵琶湖を守れと大飯原発再稼働に抗議する人々



宗教者も学校の先生も参加



旗を掲げパレードする人々